



# Enjoy! Puroland again!

齋藤T.裕美 ゼミ  
発表者:丸山 淳美



## プロジェクトの目的

ゼミの理念に則りコンテンツビルダー集団として、地域素材を利用したデジタルコンテンツを作り、その結果を地域に還元することで社会に活力を与える。

## プロジェクトの内容

パソコンの窓からピューロランドを覗く…カメラから覗くと、現実にはその場所にはないものが表示される、AR(仮想現実感)という言葉聞いたことがありますか?

ゼミでは、これを使ってピューロランドのキャラクターたちを多摩大学に呼んでみます。



## イベント当日までのスケジュール

- 3月:ゼミ合宿<宝探しの方法模索>
- 4月:サンリオピューロランド見学<知恵の木>
- 5月:大まかな役割決め→ストーリー、サウンド、3D制作(キャラ班、背景・オブジェクト班)、ARプログラミング
- 6月:イベント用ゲーム作り
- 7月:オープンキャンパスにてイベント実施



## ストーリー

ここは、キティちゃんたちが楽しく暮らしている夢の国ピューロランド。ピューロランドの真ん中にはこのシンボルである知恵の木があり、みんなが楽しく暮らせるよう見守っています。キティちゃんたちピューロランドの住民も知恵の木に感謝し、いつも手入れを欠かさず、とても大切にしていました。

ところがある日、イタズラ好きのバツ丸とクロミの二人がなんと、知恵の木にラクガキをしてしまいました。すると、知恵の木はたちまち元気がなくなってしまい、明るかった空も暗くなり、みんなの元気もなくなってしまいました。異変に気付いたキティちゃんは「誰か、ピューロランドのピンチを救ってください!…」と、祈りました。



その祈りは夢となって、眠っていたあなたの元へたどり着き、あなたが目を覚ますとピューロランドに来ていました。

あなたの目覚めに気付いたキティちゃんは、あなたに話しかけました。「勝手に呼び出してごめんなさい。でも、あなたの助けが必要なの!今、ピューロランドは知恵の木が元気をなくしてしまって、ここに住んでいるみんなも元気をなくしてしまったわ!知恵の木を元気づけるには魔法の宝箱に封印された魔法のじょうろが必要なの。お願い、鍵のかけらを探し出して魔法の鍵を完成させて魔法のじょうろを手に入れてきて!」

こうしてあなたは鍵のかけらを探す旅に出ました。あなたは、宝箱の封印を解き、魔法のじょうろを手に入れ、ピューロランドを救うことができるでしょうか?



## イベント概要

プレイヤーはキティちゃんの願いを叶えるため、トレジャーハンターとなって宝箱を開けるために必要な鍵の欠片(ARマーカ)を探しにピューロランド(大学)各地を回ることになります。

欠片は全部で6枚あり、すべて探し出して魔法の鍵を完成させてもらいます。

完成した鍵で宝箱を開けることができたらGOALです。



